

子ども



魅力ある子育て環境の構築と
こどもの夢を応援することを目
的として、本市独自の「こども
ゆめ基金」を活用し、「待機児童
の解消」「子どもの貧困対策」「子
育て世帯の支援」及び経済的理
由に左右されない「子どもの活
動支援」を実施します。

「こどもステーション」では、新
たに環境整備を行い、「児童発達
支援センター」や「親子通園事
業」を中心に発達が気になる子
とその保護者支援の充実を図る
とともに、併設する児童館と連
携し共生社会の実現に向けて取
り組みます。

発達が気になる子の早期支援
につなげるために「早期療育支
援事業」を実施します。

乳幼児健診における保護者の
負担軽減を図るため、母子健康
手帳アプリ「うるPon」(「うる
ポン」)を活用したデジタル問
診票を導入し、安心して子育て
が出来る環境を整備します。

また、引き続き若年妊産婦居
場所を実施し、安心して出産・
育児ができる支援の充実に取り

組むほか、不妊に悩む方へ、市
独自の「先進医療不妊治療費助
成事業」を実施します。

ひとり親家庭への支援につ
いては、令和7年度より、養
育費や親子交流等に関する弁
護士による個別相談支援等を
開始します。

「待機児童ゼロ」の取組として
は、保育士確保策のほか、保育
施設に従事する職員が安心して
働ける環境づくりとして全国初
となる「保育士等定着化促進保
険助成事業」を実施し、昨年度
に続き令和7年度も「待機児童
ゼロ」を目指します。

また、モデル事業として、保
育教諭を小学校へ配置し、スタ
トカリキュラムの充実等、保育
の専門性を活かした視点から教
育活動を行うことで、低学年期
における学び育ちを支援し、架
け橋期の教育を推進します。

さらに、各地域の児童館等に
おいて「こどもの居場所」を実
施し、小学生から中高生に対し
て安心して過ごせる居場所の確
保に努めます。

教育



まず、学校給食費については、
市独自の施策として、小学生に対
して学校給食費の2分の1の補助
を実施し、子育て世帯を支援しま
す。

教育関連では、うるま市教育振
興基本計画のもと策定した学校教
育アクションプラン「うるまのみ
らい」を着実に推進します。

特にこれからの変化の激しい時
代に必要とされる資質・能力を子
どもたちに育むために、市内全校
全学級に整備した電子黒板と、1
人1台端末を積極的に活用した授
業改善を推進し、子どもたちの学
びの質を高めます。

また、児童生徒の学びの場を
地域へ、さらには県内外へと広
がりのある探究学習を推進し、
学びを通してうるまを知り、う



るまを愛し、うるまを誇れる人
材の育成に努めます。そして、
こうしたうるまの子どもたちの
学び育ちを支え、見守る市民協
働学校(コミュニティ・スクール)
の活性化にも取り組みます。

不登校への対応としては、不
登校児童生徒が登校復帰しやす
い環境づくりに向け、保護者へ
の支援相談の充実を図り、学校
外の居場所や学びの場づくりな
ど、学校・地域・関係機関との
連携を強化し、学校内外でのき
め細やかな支援体制を構築しま
す。

「ふるさと応援寄附金」につい
ては、子どもたちの文化活動や
スポーツ活動における県外派遣
補助等をはじめとし、夢を応援
するために活用します。